

カメラ

ま ち の 出 来 事

あ ら か る と

郷土の大投手を目指して

(10月11~12、18日 神原スポーツ公園ほか)

「第16回平松政次旗学童軟式野球大会」(高上川学童軟式野球連盟主催)が行われました。本市出身の元プロ野球選手・平松政次さんを顕彰して行われている大会で、県内から32チームが参加し熱戦を繰り広げました。開会式では、5年ぶりに駆けつけた平松さんが「未来のプロ野球選手を目指して頑張ってください」とあいさつしました。

平松さんは、現在、本市の市政アドバイザーの一人です。



健康づくりへの意識を高めて

(10月31日 川上総合学習センターほか)

誰もが健康で心豊かに生活できる“健寿の里”を目指し、健康や福祉への理解を深めようと「健康福祉のつどい」(市・市社会福祉協議会主催)が開かれました。体験発表や寸劇、記念講演などが行われたほか、作品展示や各種相談コーナー、バザー、囲碁やゲートボールなどの大会もあり、参加者は日ごろからの健康づくりの大切さなどを再認識していました。

市民と学生が交流

(11月7-8日 順正短期大学体育館)

高梁学園の学園祭「伊賀祭」に合わせ、「市民と学生の交流フェスタ」(学園文化都市づくり協議会・伊賀祭実行委員会主催)が開かれました。学生たちが学んでいることを楽しみながら知ってもらおうと、会場には心理テスト、拓本や革細工体験、おもちゃ作りなど、さまざまなコーナーが設けられ、訪れた家族連れや子どもたちが体験しながら学生との交流を深めていました。



100歳おめでとうございます

10月24日から28日の間に100歳(明治42年生まれ)の誕生日を迎えられた嶋村俊顯さん(備中町西山)と松井ひさのさん(有漢町上有漢)を、市職員らが訪問し記念品や花束を贈って長寿を祝いました。

市内で100歳以上の人は11月5日現在で34人(男性6人、女性28人)。



嶋村俊顯さん



松井ひさのさん



相撲の醍醐味を堪能

(10月26日 神原スポーツ公園多目的広場)

日本相撲協会の秋の巡業「大相撲高梁場所」(同実行委員会主催)が、本市で初めて開催されました。力士同士が激しくぶつかりあう取組や、地元の小学生21人が幕内力士に挑んだユーモアたっぷりの子ども相撲などに、詰め掛けた相撲ファンら2,200人は大きな声援を送っていました。

また会場では、力士がサインや記念撮影に気軽に応じるなど、人気力士との触れ合いを満喫していました。

日本の生活習慣を学ぼう (11月5日 本町)

市は、市内に住んでいる外国籍の人を対象に、日本語や日本の生活習慣・マナーを覚えてもらおうと、日本語教室を開催しています。

この日の講義内容は「ごみ分別の必要性について」。今後も「自転車等の交通ルールやマナー」「病院の受診方法」など、毎回テーマを変え、来年3月まで行う予定です。



各地域で秋のイベント開催

備中ふるさと祭

(10月11日 備中やすらぎの里一帯)

特設テントでは地元特産品、うどんなどが販売され、大勢の買い物客でにぎわいました。また、ステージでは踊りや備中神楽、チャリティーオークションなどが行われ、絶好の秋晴れの下、来場者は楽しいひとときを過ごしました。



かわかみふるさと物産まつり

(10月18日 川上マンガ絵ぶた公園一帯)

テント村は地域の農産物や加工品を買い求める家族連れらでにぎわい、ポニーの乗馬体験も子どもたちの人気を集めていました。ステージでは、子ども神楽やタオル体操などが披露されたほか、伊藤咲子さんの歌謡ショーも行われました。



なりわ祭り

(10月25日 成羽文化センター周辺)

今年は、会場をこれまでの成羽総合福祉センターから変更。来場者は神楽オブジェが飾られた商店街「神楽ロード」を歩き、特産品や工芸品などが販売された各テントを楽しみました。また、特設ステージでは子ども神楽やライブショーが行われ、祭りを盛り上げました。